

まことなる事なる社ある事ハ在經十二と書は
見へ傳。神社啓蒙を見るに江州にも一と
記とあり左平記評判は一と云ふに云とを
地名とて伊豫越中出に二と云の号ありと外
にも記云は見へ傳れた秘は秘なる事とて
秘裁のいあふと云ふやふは史ある見へ傳
らに

当社伝砂城万歳丸没収を云れ一と云を
後社家も云く二と云村役人云後一云云り
らに壬午山橋村の長久寺といふと云別

当職となり七月十七日社記一において大政若
將領同日飛鳥村の社家社系傳云々社
中ノ経義を建第一寺の仏壇を建て云仏經
所の及場とて悉皆云家の斗い云云一より
親善と云已稱して社号を推去秋 公義
より記云神社伝傳の以社号云云と云傳述
より村名は傳て云と稱一云。古社工字
云云を云ふハ歎一云云云

一葉師堂

橘橋村はあり山林は五池といふあり早冠の